

【消費生活用製品安全法に基づくトヨタミからの報告】

■重大製品事故一覧

■重大製品事故一覧					更新日	2022年3月17日 (令和4年)	
管理番号	事故発生日	製品名	機種・型式	事故概要	公表日	被害状況	発生場所 ○○県
A201400664	2015年1月2日 (平成27年)	石油ストーブ(開放式)	RCA-104	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該製品は長期使用(約24年間)により、脱臭フィルターのスポット溶接が外れて燃焼筒の上にかぶさったことから、排気ガスが燃焼筒から抜けにくくなり、酸素供給が絶たれ、炎が大きくなって下方 向に溢れることで周囲の樹脂部品等を焼損したものと推定される。	2015年1月20日 (平成27年)	火災	京都府
A201500080	2015年4月16日 (平成27年)	電気ストーブ(カーボンヒーター)	EMH-90	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の電源整流基板の銅箔パターンの一部と基板が焼失しており、当該部分から発火したものと考えられるが、焼損が著しく事故原因の特定には至らなかった。	2015年5月8日 (平成27年)	火災	東京都
A201500116	2015年5月4日 (平成27年)	エアコン(窓用)	TIW-A16F	遊技施設で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。調査の結果、ゲーム機内部に組み込まれて使用されていた当該製品内部の基板等の焼損が著しいことから、製品に起因する事故と考えられるが、焼損が著しいため、事故原因の特定はできなかった。	2015年5月22日 (平成27年)	火災	岡山県
A201500545	2015年11月30日 (平成27年)	石油ストーブ(開放式)	RCA-206	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品は長期使用(約22年間)により、脱臭フィルターが燃焼筒上部をふさいだことにより炎が点火装置の扉から機器内部に逆流した可能性、置台上の油分が付着したホコリへ着火した可能性及び劣化灯油を使用したために火災に至った可能性が考えられるが、事故当時の詳細な使用状況が不明なため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	2015年12月8日 (平成27年)	火災	神奈川県
A201500599	2015年11月28日 (平成27年)	石油ストーブ(開放式)	RS-S23B	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。当該製品に異常燃焼の痕跡は認められず、カートリッジタンクが膨らんでいたことから、ガソリンまたは混合油の誤給油により事故に至った可能性が考えられるが、当該製品の焼損が著しいため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	2015年12月25日 (平成27年)	火災	神奈川県